



安田 浩

安全・安心な最先端 IT 国家を目指して

「情報・通信セキュリティ」特別研究会

RC-47

1. 代表幹事

安田 浩 (東京大学 国際・産学共同研究センター 教授)

連絡先

情報・通信セキュリティプロジェクト事務局

Tel : 03-5452-5276

Fax : 03-5452-5278

e-mail : sp-staff@ccr.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

2003年電子政府のスタートを期に、安全な「電子政府」、安全性に裏付けられた「e-Japan重点計画」と言ったように、安全性を重視した視点が重要になってきている。わが国の国際競争力を担保するものは、e-Japan2002重点計画で言う「5年後(2005年)の世界最先端のIT国家であり、そのためには、世界最先端の情報・通信ネットワークの国家的整備が不可欠である。有機的に繋がったネットワークにより、企業の生産性が一層向上し、電子政府、電子自治体も実現できる。その結果、行政の利便性・生産性向上、スリム化が図られ、同時にそれが国際競争力の源となる。一方、ネットワークの整備は常に危険の増大と背中合わせである。2002年11月、我が国を含む先進30カ国が調印した「サイバー犯罪条約」は従来の国内法の再整備を要求しており、ネットワークセキュリティの強化は喫緊の課題である。このため産学が連携して、情報・通信セキュリティレベル向上を推進するプロジェクトを組織した。本研究会では、積極的に情報・通信セキュリティ教育のカリキュラムを開発すると共に、セキュリティ関連技術の研究推進（ハザードトランス研究）とビジネス化(起業)支援を通じて我が国のセキュリティ意識向上に貢献しようとするものである。

3. その他

年会費 : 10万円

定員 : 特になし

運用方法 : 設置期間は、2003年7月～2006年3月

定例研究会を年2～3回開催予定

部会、分科会を設置しハザードトランスなど緊急の課題について研究し提言をする。

リスク発生のメカニズムとハザードトランス (HTS) を構成する要素



種別	ハザード (Hazard) 〈原因フェーズ〉	ペリル (Peril) 〈事象フェーズ〉	リスク (Risk) 〈結果フェーズ〉
現象	不正行為 ・不正アクセス ・ウイルス混入 ・モラルハザード	事故、事件 ・情報漏洩、改ざん ・サービスの阻害 ・システム破壊	損失、損害、滅失 ・金銭的損害 ・信用失墜 ・法的違反 ・生命への危険